

編集後記

養老律令(718 年)が精神の障碍に対する税と刑の減免措置を定めていたことは現存する文献であり明確である。しかし、その看護には近親者があたるように定められ、家族に過重な負担をかけてきた歴史は 1900 年の精神病者監護法で私宅監置が認められていたように、連綿と引き継がれてきた。精神障碍と犯罪という二重の苦悩を背負う方々の医療と社会復帰を、1300 年たつてようやく、国の責任で十分な医療者の手をかけて行うことになった医療観察法が 2005 年 7 月に施行された意義はきわめて大きい。施行 5 年後の見直しを 2 年後に控える今、医療観察法での医療にはまだまだ解決すべき課題が少なからずあることが指摘される中で、その見直しの議論を深めるべく、オピニオンのコーナーが企画された。

町野教授が指摘しているように、入り口である検察官の申し立ての義務規定(33 条)にある「医療を受けさせる必要が明らかでない」と認める場合」を検事だけの判断でなく医療との合議制としてどう構築するか、また、立法当初から疑問が集中していた鑑定入院に関する規定をどう明確化するか、林教授の提案される鑑定センター構想も含めて論議する必要がある、これらをどう法文化するかが次の課題となっている。その他、地域医療と福祉サービスをどう構築するか、治療抵抗性の強い、処遇困難な精神障碍者の医療をどう確保するのか/しないことが適切なのか、不処遇決定や終了の決定に対する法整備をどうするかなど、読み応えのあるオピニオンが揃っている。医療観察法の症例に関する具体的な検討結果とこれらの論議との整合性を図りながら、どう改定していくかを明らかにする企画を今後も準備できればと願っている。

この他、臨床での経験に根ざした「研究と報告」や「短報」の玉稿が多数集まり、せん妄悪化と眼球彷徨の出現との関係、治療抵抗性うつ病に対する経頭蓋磁気刺激療法の長期的寛解維持と血中 MHPG の低下との関連など示唆に富む知見が紹介されている。さらに、進行性核上性麻痺にアルツハイマー病が先行していた症例も報告されたが、本年 6 月号の「精神医学」への手紙」の上田論文の続きを読むことができたという思いに満たされており、読者の声である「精神医学」への手紙」は「巻頭言」の次に配置すべきコーナーではないかと考えている。

紅葉のたよりも聞かれる好季節となりましたが、季節の変わり目でもあり、皆様ご自愛ください。(MM)

■ 編集委員

飯森真喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第 50 巻 第 11 号)

2008 年 11 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円+税 5%)

2008 年年ぎめ予約購読料 30,600 円 (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株)丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。